

シラバスに記載する AI 使用ルール (ChatGPT などの対話型・生成系 AI の利用について)

講義、実習等における AI 使用に関するルールをシラバス等で明示する場合、以下のルール1から 4 を用いて表示する。

ルール1:利用を自由とする場合

説明;生成系 AI の利用を全面的に許可しています。授業内、および、予復習、成果物(レポート等含む)作成において自由に利用してください。使用した場合にその旨をレポート等に記載するかどうかに関しては、担当教員の指示に従ってください。

ルール 2:利用可の場面を限定する場合

説明:以下の場合においては、生成系 AI の利用を許可します。これ以外の場面での利用は禁止します。このルールに違反した場合は、指示違反と認定し適切な措置を取ります。

<利用可の場面>

- ・(各教員で記載)
- ・(各教員で記載)

教員向けの選択肢例:

【講義(文系)】講義資料の要約、レポートの草稿作成、文献のレビュー、文章の翻訳、など

【講義(理系)】講義資料の要約、レポートの草稿作成、デバック、数式の計算、など

【実験】実験デザインの提案、データの分析、結果の解釈、エラーの分析、など

【演習】レジュメの草稿作成、デザインの原案作成、プレゼン資料の原案作成、など

注:これらは、価値中立的に、利用例として想定されるものをいくつか列挙したにすぎず、WGとしてこれらを利用可能なものとして提示することを意図しておりません。

ルール 3:利用を完全に禁止する場合

説明:利用は禁止しています。授業内での利用は厳禁となっており、このルールに違反した場合は、指示違反と認定し適切な措置を取ります。

ルール 4:その他

説明:(各教員で記載)